

植物ゾーンのリニューアルについて

1. 概要

全国都市緑化フェアのメイン会場である植物ゾーンについて、①緑化フェアまで（2022年春）と、②開園100周年（2029年）までの2段階に分けてリニューアルするもの。

<くまもとフェアの開催概要>

開催時期	2022年春の2ヵ月程度（3月～5月）
主催	熊本市、(公財)都市緑化機構
メイン会場	① 街なかエリア 「熊本城公園及びシンボルプロムナード一帯」 ② 水辺エリア 「水前寺江津湖公園一帯」（水前寺地区～広木地区、動植物園含む） ③ まち山エリア 「立田山」
基本理念	① “森の都”の魅力再発見と“森と水の都”の発信 ② 熊本地震への支援に対する感謝と復興のメッセージ ③ 未来への禱 ～未来へつなぐ、つなげる～

2. リニューアルに係る意見

1) 水前寺江津湖公園利活用・保全推進協議会

水前寺江津湖公園が誇る恵まれた自然環境の保全や資源の活用、次世代への継承を目的に、保全と利活用の両面から計画を策定するもの。

（外部委員33名《環境部会、アクティビティ・マネジメント部会》、協議会5回開催）

【主な意見】

- 江津湖と動植物園との一体性が乏しい。つながりが必要。
- 江津湖側の生垣を撤去し、展望デッキや休憩場所を設置してはどうか。
- 江津湖の自然環境に関する情報を、集約・発信する場がほしい。

2) 植物園アドバイザー

植物園のリニューアルにあたり、植物や造園の専門家であるアドバイザーからヒアリングを行ったもの。

【主な意見】

- 動物と植物を融合させた方がいい。（動物ゾーンへの移植、植物ゾーンでの動物展示）
- 樹木の整理が必要。（剪定、移植、間引き）
- 水辺の動植物園という立地特性を活かすべき。

3. 今後のスケジュール

